

コード	501050102
記入日	H25.5.24

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	川田 成一

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	県道徳教育研究大会補助事業
----------	---------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	1
基本事業コード	50105	基本事業名称	教職員の資質の向上	目コード	1
事務事業コード	5010501	事務事業名称	教育補助金事業費	細目コード	696
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 研修会参加者数	(対象2)	(対象指標1) 112人	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・長崎県道徳研究会を本町で開催し、研修大会の運営費の一部を補助した。 →補助金交付額 150千円 →県内の小中学校教員 112名参加	***** 補助金交付件数	1件	100%	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	計画どおり研究大会を開催し、運営費の一部を補助した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・長崎県道徳教育研究大会は、県内の小・中学校教職員による道徳教育に関する研究・修養を目的とし毎年県内各地区で持ち回りで開催している。 ・平成24年度は、南松地区担当で、「人とかかわりを大切にし、いのちを輝かせて生きる子どもの育成」を研究主題として、教職員の道徳教育の向上を図る。		***** 教職員の資質の向上	-	-	-	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	長崎県道徳教育研究大会が計画どおり開催され、県内の教職員の道徳教育の向上に寄与した。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 24 ~ H 24		23年度以前	24年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	1	1		1	1
	②					
成果指標	①					
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	850	850		850	850
直接事業費 A	千円	150	150		150	150
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起 債	千円				
	そ の 他	千円				
内 一般財源	千円	850	850		850	850

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	教職員が自主的に教育研究を行うことで、道徳教育の質の向上を図ることができた。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	研究大会を計画どおり開催することができた。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	研究大会の運営費の一部を参加者会費により賄い、会の自主財源の確保に努めたほか、その他の予算及び業務量についても必要最小限にとどめた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	大会事務局により、会の運営、経理及び研究内容等について効率的・効果的な自主運営がなされており、24年度研究大会も成功裏に終了した。引き続き、町としては大会事務局が適正な会の運営等に努めるよう注視していく。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	目的は達成された。
2 次 評 価	今後も教職員の資質の向上及び本町の教育レベル向上に努めること。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。